

# 令和6年度第1回 介護医療連携推進会議 議事録

令和6年度第1回 介護医療連携推進会議 名簿

## 【委員】

	氏 名	所属団体	備 考
1	片桐 やゑ 様	利用者 代表	
2	武田 美香子 様	利用者家族 代表	
3	瀧澤 俊之 様	長井市台町地区 地区長	欠 席
4	荒生 興子 様	長井市台町地区 民生委員	
5	加藤 紀子 様	長井市訪問看護ステーション	
6	横澤 真実 様	長井市福祉あんしん課	

## 【事務局】

	氏 名	所属団体	備 考
1	竹田 香織	代表取締役	
2	小林 正巳	総務部	
3	吉田 隆二	竹田けあほーむ 施設長代理	
4	千葉 順子	計画作成責任者	

## 【議 事】

1. 事業所別運営状況について
2. 各種委員会報告
  - ① 感染対策委員会
  - ② 高齢者虐待防止委員会
  - ③ 身体拘束廃止委員会
  - ④ 苦情解決対応委員会
  - ⑤ 事故発生防止委員会
3. 他事業所との連携状況について
4. 外部評価について
5. 事例紹介
6. その他

1. 管理者・施設長より
<p>竹田： この度は、介護医療連携推進会議にご出席いただき誠にありがとうございます。昨年 11 月に開催してから半年が経過して、今年度初めての会議となります。この半年間に当事業所では新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、皆様にはご心配とご迷惑をお掛けし、この場をお借りしてお詫び申し上げます。</p>
2. 事業所別運営状況について
<p>小林： 事業所別の運営状況について事務局より説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 利用者数推移</li> <li>② 介護度別利用者数の推移</li> <li>③ 世帯構成別の利用者割合（市内巡回）</li> <li>④ 職員の状況</li> </ul> <p>上記については資料をご覧ください。</p>
3. 各種委員会報告
<p>小林： 各種委員会報告として各委員長より報告願います。</p>
② 感染対策委員会
<p>竹田： 感染対策委員会よりご報告申し上げます。</p> <p>令和6年2月19日 竹田けあほ一む入居者1名、新型コロナウイルス感染者が発生した。</p> <p>感染源は家族面会時で面会者が潜伏期でのウイルスの持ち込みとほぼ断定となる。</p> <p>感染者は感染確定日の2日前から、軽い症状はあったものの、通常の生活をしていました。</p> <p>陽性と診断された時点でケアに関わる職員の感染の可能性やリスクを精査し、事務所を別棟へ移し、市内巡回の職員とほ一むの職員を速やかに分けた。</p> <p>速やかに居室での隔離・トイレ等に共有スペースの調整・使い捨て食器の使用等感染対策をとったが、既にほ一む内に広がっており、翌日から職員・入居者へ感染が拡大しクラスターとなった。</p> <p>共有スペースの使用を中止し、共用トイレの使用分散を図るためポータブルトイレを居室へ設置した。</p> <p>最終感染の確認日から10日経過の3月9日まで、職員14名中11名、入</p>

<p>居者12名中8名の感染が確認された。</p> <p>この間、巡回利用者は2名の感染を確認するが、デイサービス等の外出もあり感染源の特定はできないが、適切な対応をとり感染拡大はなかった。</p> <p>全ての感染者は医療機関を受診し、投薬治療や医師との連携によりほむ内で経過観察をした。医師の管理のもと2名が入院となる。</p>
<p>③ 高齢者虐待防止委員会</p>
<p>吉田： 高齢者虐待に関する事項はございませんでした。</p>
<p>④ 身体拘束廃止委員会</p>
<p>千葉： 身体拘束に関して、資料の通り1件ありました。</p> <p>内容は、資料の通りです。</p>
<p>⑤ 苦情解決対応委員会</p>
<p>竹田： 苦情は全部で4件を受け付けました。</p> <p>内容は資料の通りです。</p>
<p>⑥ 事故発生防止委員会</p>
<p>竹田： 事故の内訳は資料の通りです。</p> <p>与薬の件数が16件と突出しているのは、主に新型コロナウイルスのクラスターにより、ほむの職員運用がワンオペで服薬の際の職員間のチェック体制が脆弱になったことによるものが要因となっています。</p>
<p>加藤： 事故の発生以降に与薬を間違わないように再発防止策は構築しましたか。</p> <p>以前の職場でも行っておりましたが、ワンオペ体制でも視覚的に判別できる工夫等が必要と思います。</p>
<p>吉田： 件数としては16件と突出しておりますが、内容的には薬を取り違えたものの与薬する寸前で回避できた等のヒヤリハットの面が多くありました。</p>
<p>4. 他事業所との連携状況について</p>
<p>小林： 他事業所との連携状況は資料の通りです。</p>
<p>5. 外部評価について</p>
<p>小林： 外部評価についてですが、内部評価をもとに本会議で外部評価の意見を頂戴したいと思っておりますが、時間の都合上、外部評価について、各委員に持ち帰って戴き、5月末日までにご意見を頂戴できればと考えております。</p>

何卒宜しくお願い致します。
6. 事例紹介
吉田： 竹田けあほ一む入居者の事例となります。
千葉： 市内巡回利用者の事例となります。
7. その他
小林： 各委員よりご意見等をお願いします。
片桐： ほ一むに入所して2年が経ちましたが、職員の皆さんはとても親切で、ここに入所してとても良かったと感じています。
武田： 母がお世話になっております。 先日もご迷惑をお掛けしました。今後ともよろしくをお願いします。
荒生： 新型コロナ感染症に見舞われて、大変ご苦労様でした。前職でも感染症の猛威は痛感しておりご苦労があったと推察します。今後とも、感染症等のリスクに対して十分に注意してください。
加藤： この度は2人でお邪魔させていただきありがとうございました。 現在、ほ一む利用者の訪問看護はありませんが、市内巡回での利用者様への連携があり、今後も日中独居の生活を支えるため巡回は必要と思われれます。 介護と医療の連携を図っていきたいと思います。
横澤： 長井市では「おでかけ見守り」の事業を行っております。 もし、利用者で必要な方がいらっしゃれば、福祉あんしん課および地域包括支援センターへご連絡ください。

以上をもって介護医療連携推進会議を閉会した。